

# 極楽寺だより

長門市三隅下  
野波瀬  
0837(43)0625

## 盆法会のご案内

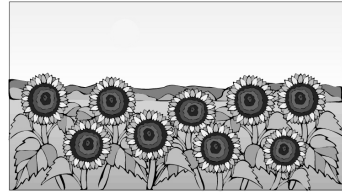
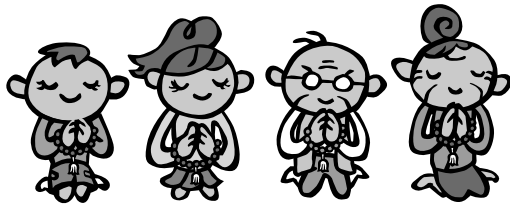
暑中お見舞い申し上げます。お盆には都会に出ておられる方々の帰省で、忙しくもうれしい時期です。ならば、ご家族揃ってお寺にお参りされてはいかがでしょう。盆法会はお勤めを含めて一時間と少して終わります。計算してみれば、一年は八七六〇時間。八七六〇のうちの一時間です。しかし、こんな慌ただしい時代だからこそ、心を落ち着け仏様に手を合わせる時間を持つことは、人生にとって本当に大切なものとなるはず。です。

八月十四日(日) 午後二時

十五日(月) 午後二時

十六日(火) 朝九時(魚法会)

魚供養、魚法会は、特に志を供えられた漁業者だけの法要ではありません。仙崎の鯨法会のように、どなたでも、また多くの方がともに仏法を聞くことが大切なのです。たくさんのお参りをお待ちしています。



## 三隅 親鸞聖人鑽仰会 法会御案内

毎年恒例の三隅親鸞聖人鑽仰会法会。

今年度第四十八回は、津雲 宝国寺にて

勤修されます。どうぞ、お誘い合わせの上

御参詣下さい。

記

一、日時 九月八日(木) 午後一時半

九日(金) 午後一時半

一、会所 津雲 宝国寺

一、講師 岡山 浄福寺住職

山下 義円 先生

ご希望の方は、送り迎えをいたしますので、極楽寺までお申し出下さい。

以上

どうぞ、  
遠慮なく!



# 報告のページ

7月2日の総代・世話人会議にて、下記の通り収支決算が承認されました。

## 2010(平成22)年度極楽寺門徒会収支決算書

平成22年4月1日～平成23年3月31日

	費目	金額(円)	摘要
収入	門徒会会費	789,000	延263戸×3,000円 (野波瀬120/在方延111/町外延32)
	本山教化助成金	7,600	本山門徒講、永代経志進納によるもの
	貯金利息	505	
	前年度繰越金	3,063,800	
	合計	3,860,905	
支出	負担金	406,740	本山賦課金 93,600
			本山門徒講金 152,000
			山口教区費 125,540
			大津東組 組費 35,600
	研修会費	3,000	組総代会総会(7/27)
	火災保険料	139,700	本堂 6,700万円 106,460
			庫裏 4,000万円 33,240
	会議費	60,000	7/4 総代・世話人会議
	慶弔費	40,000	岡本長一前総代・石津尚行前世話人逝去
	予備費	100,000	東日本大震災義援金
合計	749,440		
差引残金		3,111,465	漁協普通預金

### 2010(平成22)年度極楽寺 特別会計収支決算書

	費目	金額(円)	摘要
収入	定期預金	2,292,380	
	普通預金	70,358	
	利息	1,322	定期1,284円 普通預金38円
合計		2,364,060	漁協定期預金2,292,380円 普通預金71,680円 (支出なし)

**2011(平成23)年度の門徒会費は、前年通り3,000円です。**

三隅地区の方は世話人さんへ。他地区の方は、直接お寺の方へ納入して下さい。宜しくお願いします。

総代長藤田平二（仙崎）さんから、  
新総代長木村慎治さん（野波瀬）への  
交代がありました。

藤田平二総代長から、新しく木村慎治さん  
（野波瀬）へ、総代長の交代がありました。

昨年の宮崎茂之総代長の辞任に伴い、就任さ  
れた藤田総代長でしたが、以前より「総代長  
は地元野波瀬から」「私は、つなぎ役として引  
き受ける」と言われておられた中で、今回の  
交代となりました。ただ、藤田さんにはこれ  
からも総代としてご活躍いただけるというこ  
とです。藤田さん、組行事もあり、お疲れ様  
でした。そして、これからもよろしくお願  
いします。この交代に伴い、副総代長には、小  
林 明さん（豊原）にご就任いただきました。  
木村新総代長、小林副総代長には、これから  
益々お世話になります。よろしくお願  
いします。

副総代長には、  
小林 明さん（豊原）



藤田平二前総代長



小林 明副総代長



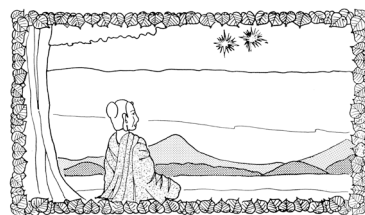
木村慎治新総代長

総代長	木村 慎治さん（野波瀬）		
副総代長	小林 明さん（豊原）	会 計	松野行利さん（野波瀬）
監 査	野村昭一さん（上東方）	総 代	藤田平二さん（仙崎）
総 代	山中重良さん（豊原）	総 代	宮崎忠彦さん（野波瀬）

野波瀬西側	斉藤達男さん	市・湯免	名和田栄さん
	綿野節男さん	土手・中村・大竹	竹林啓助さん
	宮崎忠彦さん	久原	藤村勇次さん
	黒瀬彰己さん	向山	木村重彦さん
	大田宇三郎さん	上東方	西村一夫さん
	角村信忠さん	下東方・小島	小林 昭さん
野波瀬東側	河村康昭さん	豊原	山中博道さん
	鼻野直行さん		重岡幸作さん
	石川義文さん		宮本 智さん
	田村末夫さん		石村政一さん
	岩本国久さん	平野	山中洋介さん
辻並・中小野	上田耕作さん	浅田・沢江・上ゲ・殿村	磯 昭正さん

# 極楽寺揭示伝道

けいじてんどう



極楽寺揭示伝道  
人間は問題があつて困るのではなく、  
どんな問題にあつても困るようになつてきている



## 7月の言葉

この言葉は、先月の言葉と対になつてきているような言葉です。お釈迦様が「人生は苦である」と言われているように、私たちの人生には様々な問題が襲いかかつてきます。しかしその根っこは「不如意ふにふい（思い通りにならないこと）」つまり私たちの苦しみの原因は、私の思いだと指摘されるのです。

私たちは、いろいろな希望や願いをもち、未来を想定しながら生きているのですが、人生には想定外のことはいくらでも起こってきます。思い通りにならないことを「問題」として困り果てているのであれば、それは自分の思いが作り出したものでしかありません。どんな問題にあつても、困るはずです。\*

私たちは、自分で立ったり、座ったりしていると思いがちですが、支えて下さる大地があるからこそ、立ったり座ったり

人生を耕させてもらう道それがお念仏



## 8月の言葉

できるのです。でも、その支えて下さる大地に、深く感謝をしたことがあるでしょうか。そういう私はというと、感謝するどころか、当たり前のように踏んづけて、アッケラカンとしているのですが・・・。

私たちは、頭では理解したり、知識として持っていることは多いのですが、そのことを深く味わい、噛みしめているのかというと、なかなかそうはいきません。大地を深く耕すように、自分の心を深く耕すことで、豊かな恵みを味わうことができるのではないのでしょうか。お念仏の心を聞くとは、まさしく人生を支えて下さる大地を耕すということなのだと思えるのでしよう。

豊あかな実りこの出遇あいが開かれるのでしよう。

浄土真宗は、船の宗教だと言われます。「弥陀の願船」難なん

## 7月の言葉

\*先月の言葉のように、様々な問題との出遇いを、私の人生を深める縁といただくことがなければ、いつもいつも困り果て、「世の中が悪い」「政治家が悪い」「あいつがいなければ」「生んでくれと誰が頼んだ・・・」などと周りに責任を押し付けながらしか生きることでできないのではないのでしょうか。これは、本当に寂しい生き方だと思います。どんな状況であれ、ここからしか私の人生は始まらない。そんな厳しい現実を受け止め、ここからの歩みを豊かなもの、といただくことが、仏法をよりどころとした生き方なのだと、教えられるのです。

但し、誤解しないで下さい。いわれなき差別に苦しむ人に「それは、あなたの思いが作り出したものだ」「いつもよりは、全くないのです。差別とは、する側の思いが作り出したもの。そんな思いが、する側自身をも傷つけ、貶め、いっく原因になるのです。■

## 8月の言葉

※度海を度する大船」といったたとえも数々ありますし、正信偈には、「顕示難行陸路苦 信樂易行水道楽(難行の陸路苦しきことを顕示して、易行の水道楽しきことを信樂せしむ)」とあります。これを読めば、陸路を自力で歩くのは大変だけれども、他力の船に乗って進むのは楽チンだというイメージになりそうですが、そうではありません。船は、乗る人よりも、もっと深く沈んでいるのです。自分の身を深く沈めて、私を支えて下さる働きがある。そのことに気づき、手を合わせていくのが、お念仏の世界なのです。人まかせにして楽チンだと、支えて下さる世界を見失っている姿は、他力本願から最も遠いあり方です。やはり、頭だけで理解するのではなく、心を深く耕すことがなければ、私を支えて下さる世界を、尊び、喜ぶことなどできないのでしよう。

また、自分の力でこれだけやっただけだけ進んだと、自らの歩みを握りしめるならば、支えて下さる大地との出遇いは、開けることもありません。陸路を難行とさせるのは、そんな人間の在り方でもあるのです。■

最近は、真宗の葬儀でも、「浄土」という言葉はほとんど使われなくなりました。たいていは天国か、「お眠り下さい」か。テレビの影響もあります。が、「浄土」や「地獄」へのリアリティがなくなった時代なのでしょうか。

以前、ある方の葬儀で、弔辞が読まれました。まだ定年前で会社にお勤めでしたから、上司の方、同僚の方からのお言葉は、亡き方の人柄が偲しのばれる、感動的で心温まるものでした。勿論、役職名には配慮や気配りがあったようです。きちんと確認もされたのでしょうか。

ところが、「天国で、私たちを見守っていて下さい。」と言われた後に、今度は「安らかにお眠り下さい」と言われ、最後には「冥福をお祈りいたします。」と締められる。天国に行つて見守つて、安らかに眠つて、今度は冥府めいふに行かされたりと、亡くなられた人も大変だろうなあと思ひながら聞いておりました。役職名には配慮があつても、そういうことについては無頓着なんですね。

私は、別に弔辞を読まれた方について、どうこう言うつもりはないのです。というよりも、こういう感覚が近頃では当たり前になりました。僕も、お寺とのご縁がなかったら、何も考えずに使っていたことでしょう。ただ、ふと思ったのです。亡くなられた人も、そして自分自身も、天国や、それなりにいいところこまめれると、当たり前のようにこころをうけて、る寺でまよふ、ハ

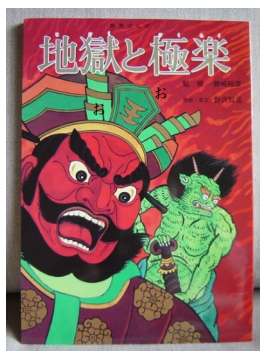
## 地獄のリアリティ 住職



たちは、もっともつと、そういうことに対して真摯しんしに、真剣しんけんに向かい合つておられたように思います。

以前、「法然と親鸞」という舞台を観に行きましたら、法然上人いおうりの庵いに集まる人たちが、「私は、地獄に墮おちるのでしようか。」「人を殺す武士は」「生き物の命を奪う獵師は」「体を売るような仕事でしか生きられぬ女である私は」と、地獄を怖れ、阿弥陀如来の浄土への救いを求める場面がありました。やはり、昔の人たちはそれだけ「地獄」や「浄土」というものをリアルに感じながら生きてこられたのでしょうか。しかし、それは裏返せば、自分の人生に真剣に向き合うからこそではないかと考えさせられたのです。

ところが、現代社会に生きる私たちはどうかというと、役職名なんかには敏感びんかんに反応ひるがえしますが、自分の行き先、翻れば自分の生き様、自分の罪深さについては、どれだけ真摯しんしに向き合っているのでしょうか。



あるご住職が、友人の歯医者さんに、昔と比べてお寺に参拝者が少なくなったことを話すと、「地獄に墮ちるといっても、今はひとつも痛くないからなあ」とおっしゃったそうです。歯が痛いのは我慢できないから、夜中でも叩き起こされることもあ



しかし、自分の人生には、自分の罪深さには無頓着になっている時代だという鋭い指摘です。

自分の人生を深く見つめ、自らの罪深さを正面から見つめられた方が、それでもこの私を包み、いとおしんで下さる世界として、「浄土」と出遇むとんちやくわれたのです。自分の人生に無頓着に生きるならば、その出遇いの感動など、わかるはずもないのでしよう。

「地獄」や「浄土」にリアリティがない時代とは、実は自分の人生へのリアリティを失った時代ではないのでしょうか。お盆のご縁を通して、もう一度、自分の人生を見つめ直してみようと思います。

「作法の極意」第二回目は、  
合掌・礼拝についてご説明します。

## 作法の極意 第二回

# 合掌の極意

両手を合わせ、念珠をかけて、親指で軽く押さえます。



両手は、胸に軽く添えて、中央くらいに置きます。



手は、上を向きすぎず、下を向きすぎず、胸との角度は45度くらいにします。



約45度



なまんだぶつ

顔は下げずに、阿弥陀様のお顔を見て、お念仏を称えましょう。礼拝するときには、頭は下げすぎず、手が地面と平行になるくらいに下げ、一呼吸おいて元の姿勢に戻ります。



※ 念珠は大切なものです。人が歩く場所、畳や廊下には、置かないようにしましょう。

お寺の子ども会  
花火とかき氷の夕べ

8月のお寺の子ども会は、  
夜の子ども会です!

8月22日(月)

夜7時30分から  
9時前には終わります

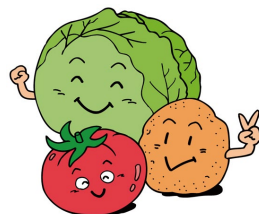


どうぞ、ご家族でお越し下さい。

## 宮崎の野菜を、東北へ

### 野菜サポーター基金 ご報告

極楽寺だより6月号でお願いした、宮崎で火山灰被害を受けた農家の野菜を買い、東北での炊き出しに使おうという「野菜サポーター」。たくさんのご協力有り難うございました。  
4月28日に72,000円、7月21日に21,000円を送りました。  
これからも、長い目で支援していきたいと思ひます。  
ご協力お願い致します。



## 極楽寺ホームページ

<http://極楽寺.com/>

新しいコーナーも増え、どんどん更新しています。